

“港南チャレンジ2013春”開催のお知らせ

道場生・ご父兄 各位

前略、今回で22回目を数える『横浜港南支部内交流試合“港南チャレンジ2013春”』の開催を下記の通りお知らせ致します。出場希望者は内容をよく確認の上準備をして下さい。

試合規則・開催カテゴリーなどの詳細は、別紙「港南チャレンジ開催要項」をご参照下さい。

極真空手の創始者・大山倍達総裁の言葉「実践なくんば証明されず…」の通り、真剣勝負を通じて学ぶこと、気付くことは計り知れません。初心者も勇気を出してチャレンジしてみましょう！

試合名 第22回横浜港南支部内交流試合“港南チャレンジ2013春”

日時 4月21日(日)
開場 10:30 開会 10:45

会場 金沢産業振興センター 多目的ルーム

< 電車 >

金沢シーサイドライン「産業振興センター駅」より徒歩1分

< 車 >

首都高速「幸浦ランプ」2分・横浜横須賀道路「並木IC」4分



出場料 ¥4,000 現金のみ

開催カテゴリー 別紙「港南チャレンジ開催要項」を参照

試合規定 別紙「港南チャレンジ開催要項」を参照

申込〆切 4月13日(土) 各道場の稽古終了時間まで。

今回から「初心者クラス」を設け、初めての試合挑戦もし易くなりました。

開催要項は「改訂 2012.11」以前のバージョンをお持ちの場合、内容が一部変更されていますのでご注意ください。

今回出場しない道場生も、会場で試合運営のお手伝い・仲間の応援をお願いします。

組合せのダウンロード

組合せ表は4月18日(木)にアップ予定。完了次第メールにてお知らせします。

港南チャレンジ2013春

出場申込書

誓約書

私儀、2013年4月21日に開催される第22回極真会館横浜港南支部内交流試合への出場にあたり、本試合のルールに従い正々堂々と技を試し合う事を誓います。
また、健康診断を受けるなど、健康管理は自分で責任を持ち、万一負傷及び事故等が生じた場合、主催者・道場主に対し訴える権利を一切放棄します。

2013年 月 日

氏名

印

未成年者のみ

誓約書を理解し上記の者の出場を承認します。

保護者氏名

印

ふりがな			
氏名			
極真会館会員 (会員カード)		連絡先	
支部登録 (出席簿)			(携帯も可)
身長	cm	体重	kg
年齢	才	級位	級
大会出場暦 (入賞暦も記入)		空手暦	年 月 日
		試合の出場経験	あり なし

出場クラス	初心者クラス (白帯~青帯)	チャレンジクラス
どれかに をする (少年部は男女混合) 【注意】 小中高校生の学年は 4月からの新学年 壮年の年齢は 試合当日の年齢で	1 幼年(帯不問)	15 小学1年
	2 小学1年(初心者)	16 小学2年
	3 小学2年(初心者)	17 小学3年
	4 小学3年(初心者)	18 小学4年
	5 小学4年(初心者)	19 小学5年
	6 小学5年(初心者)	20 小学6年
	7 小学6年(初心者)	21 中学1年
	8 中学1年(初心者)	22 中学2・3年
	9 中学2・3年(初心者)	23 高校1年
	10 高校1年(初心者)	24 高校2・3年
	11 高校2・3年(初心者)	25 壮年39歳以下
	12 壮年39歳以下(初心者)	26 壮年40歳以上
	13 壮年40歳以上(初心者)	27 女子
	14 女子(初心者)	28 一般初級軽量級 (-70kg)
	29 一般初級重量級 (+70kg)	

備考(病歴などがある場合は必ず具体的に書いて下さい。)

申込締切: 4月13日(土) 各道場稽古終了時間まで

申込方法: 申込書(本紙)にもれなく記入の上、出場料(¥4000)を添えて期限までに提出して下さい。 出場料の支払いは現金のみ

極真会館横浜港南支部 第22回支部内交流試合

“港南チャレンジ2013春” 開催要項

港南チャレンジは、試合初挑戦・試合経験の浅い選手の経験の場として2000年から開催されています。今回から、初めての試合挑戦に最適な「初心者クラス」と、大きな大会へのステップにする「チャレンジクラス」の2クラスを設けました。試合に出たことのない道場生もこの機会に挑戦してみましょう。出場希望者は本要項をよく読み、試合に備えてください。

開催カテゴリー

クラス	初心者クラス	クラス	チャレンジクラス
1	幼年(混合) 帯問わず、戦績問わず	15~20	小学1年~6年(チャレンジクラス)
2~7	小学1年~6年(初心者クラス)	21	中学1年(チャレンジクラス)
8	中学1年(初心者クラス)	22	中学2・3年(チャレンジクラス)
9	中学2・3年(初心者クラス)	23	高校1年(チャレンジクラス)
10	高校1年(初心者クラス)	24	高校2・3年(チャレンジクラス)
11	高校2・3年(初心者クラス)	25	壮年39歳以下(チャレンジクラス)
12	壮年39歳以下(初心者クラス)	26	壮年40歳以上(チャレンジクラス)
13	壮年40歳以上(初心者クラス)	27	女子(チャレンジクラス)
14	女子(初心者クラス)	28	一般初級軽量級(-70kg)
		29	一般初級重量級(+70kg)
<ul style="list-style-type: none"> 横浜港南支部所属の白帯から青帯 県大会(初級も含む)・関東大会で入賞経験がないこと 港南チャレンジで優勝経験がないこと 		<ul style="list-style-type: none"> 横浜港南支部所属のオレンジ帯から茶帯 県大会(初級を除く)・関東大会以上で入賞経験がないこと 白帯は、各指導者が推薦し支部長がそれを認めた場合出場可 	

出場について

港南チャレンジは支部内試合につき、極真会館が定める「少年部の試合・大会出場間隔の制限(20日)」の対象外となる。よって前後19日以内の対外試合への出場も可能となる。

港南チャレンジは横浜港南支部の道場生で各カテゴリーの出場基準を満たしていれば誰でも出場出来る。(選手会の登録の必要なし)

出場基準を満たしていても、主催者判断で出場の見合わせ・クラス変更を促す場合がある。

防具

ヘッドガード以外の防具は各自が用意すること。

防具は公式サポーター(公認品)以外も使用可。(極端に薄いものは不可。)

ヘッドガードは主催者が用意するが、同型(イサミ社製CKW-10又はTT-25)の物なら自己所有の物を使用可。

その他

申し込みの状況により安全性を最優先しクラス分けを変更する場合がある。

原則として1クラス2名以上の申込みがない場合はそのクラスは行わない。

港南チャレンジ 試合規則

以下は国際空手道連盟試合規則 (IKO ルール) に基づき、少年部及び初心者の安全を考慮し、特例的に決定した事項が含まれる。また、全ての裁定は本部席・審判団に委ねられる。

- (1) 試合時間 「少年」「中学」「高校」「壮年」「女子」本戦 1 分 30 秒・延長戦 1 分 30 秒
「一般」本戦 2 分・延長戦 2 分。 延長戦で必ず決着を付ける。
- (2) 防具について・・・危険防止のため、ヘッドギア・グローブ (少年部は拳サポーター)・スネサポーター・金的サポーター・胸サポーター (女子のみ) を必ず着用して行う。マウスガード・膝サポーターの着用は任意とする。
- (3) 試合の勝敗
- 一本勝ち 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を 3 秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとなる。
技あり 2 つによる合わせ一本勝ち。
- 技有り 反則箇所を除く部分へ技を極め倒した場合で 3 秒以内に相手選手立ち上がった時。
足掛けで相手の体を一瞬でも完全に奪い、倒れた相手に、下段突き (相手に直接当てずに空突きで行う) を極めた場合。
少年部の場合は、技が決まって倒れた場合は全て 1 本となる。上段への蹴りがノーガードでヒットした場合はダメージに関係なく技有りとなる。泣いた場合、技をもらい続け動けない場合も審判の判断により技有り・一本になる。
- 判定 「一本勝ち」で決まらないときは判定で勝敗を決定する。
判定は主審 1 名、副審 4 (2) 名のうち 3 (2) 名以上の判断を有効とする。
判定基準 (下記の優先順位で判定をする) (審判 3 人制の場合)
- 1.ダメージ 2.有効打 (正確的確・有効な技) 3.手数 (技を出した数、攻勢、気合い、気迫)
- (4) 延長戦・・・判定で主審を含む 5 (3) 名の審判のうち 3 (2) 名以上の支持がない場合は引き分けとし、延長戦を行う。(審判 3 人制の場合)
- (5) 反則と注意
- 反則には「注意」が与えられる。(故意の反則及び悪質な反則は減点を与える場合あり)
禁止箇所への攻撃・禁止行為 (以下の行為を反則とする)
手・肘による顔面及び首への攻撃。 金的への攻撃。 頭突きによる攻撃。 倒れた相手への直接攻撃。 相手選手を投げる、手で掴む・手で掛ける・押す。
膝関節げり (中足・足刀・カカトによる正面からの膝への攻撃)
背後からの攻撃、背部の正中線 (背骨・脊椎) への攻撃は、どんな状況でも反則。
(回り込み・いなし・さばきにより相手の背後をとった状態から、技がとぎれない一連の動作による禁止攻撃箇所以外への攻撃は有効です。)
その他、再三にわたる技の掛け逃げ、故意に場外へ出るなど、審判が反則とみなした場合。
- (6) 減点・・・次の場合は減点 1 となる。
注意を一度取られてから、再び反則を取られた場合。 故意の反則及び悪質な反則を行った場合。 審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合 (粗暴な態度をとる・審判の言う事を聞かない等) 減点 3 で失格となる。
減点と技有りの関係は【減点 1 < 技有り】 【減点 2 = 技有り】 とする。

セコンド・応援の注意事項

セコンド・応援者は下記の行為が禁止となります。再三の注意にもかかわらず改善されない場合、退場して頂くことがあります。選手の努力を無にする事のないようご注意ください。

判定に対して主催者・審判団を誹謗中傷するような発言・態度

相手選手を中傷するような言葉や態度、汚い言葉での応援

試合場を叩くこと、試合場に身を乗りだしての応援、立ち上がったの応援

観客の邪魔になる場所での応援・待機・打合せなど 鳴り物・携帯電話・無線機の使用

着帽、サングラス、ガムを噛むなど、セコンド・応援者として相応しくない服装・態度は厳禁。

フラッシュや照明を使用しての撮影 (選手の目に強い光が入ると大変危険)

その他、審判員・スタッフの指示に従わない行為